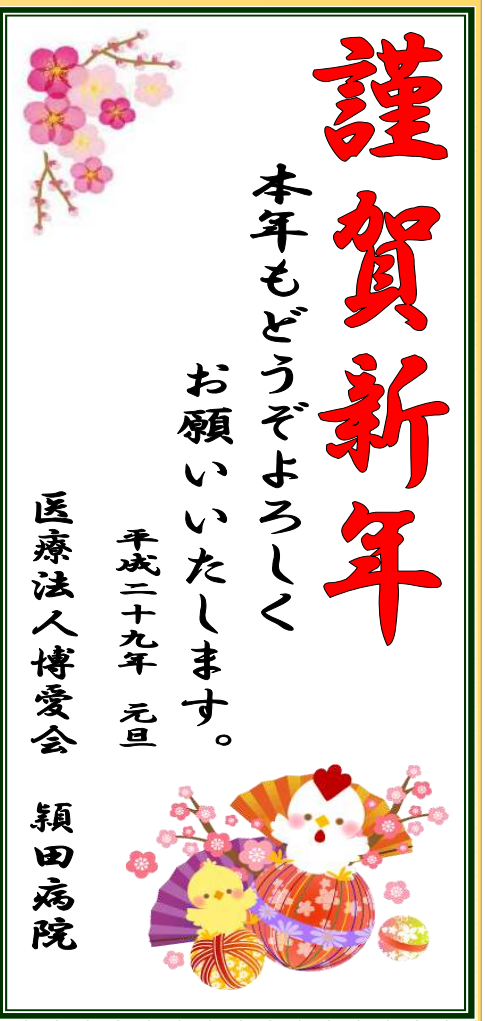




かいた病院だより

第19号

発行 本田宜久
編集 広報委員会
連絡先 TEL 09496-2-2131



新年ご挨拶

2017年を迎え、穎田病院もあらたに新年度の方針を策定いたしました。これから3ヶ月間、各部署で方針を具体化し詳細な目標設定を行ってまいります。

方針策定にあたり、常に私どもが意識しているのは麻生グループの一員として共有しているミッションやビジョンです。グループのミッションとして「社会システム変革への貢献」、ビジョンとして「安心をカタチに、生きがいデザインする」、経営姿勢として「We Deliver the Best」を掲げています。

「社会システム変革への貢献」は、穎田病院の存在そのものと考えています。一専門分野に特化した医師ではなく総合診療医を育成しています。小児の健康診断から在宅でのお看取りまで幅広い知識と技術を習得した医師が、医師単独ではなく様々な職種と連帯してチームとしてケアを提供いたします。

「安心をカタチに、生きがいデザインする」とは文字どおり医療における安全を重要課題としながら、同時に患者さんやご家族、地域の皆様の幸せを常に意識して、自分たちに何ができるかを考える姿勢です。

このミッションとビジョンを掲げて、病院職員一同、一丸となって皆様にベストの医療をお届けし、地域の発展繁栄に貢献できるようめざす姿勢が「We Deliver the Best」です。本年も努力精進してまいりますので、皆様からのご支援とご指導、どうぞよろしく願い申し上げます。

院長 本田宜久

時事通信

ノロウイルスについて

暖かいお正月でしたが、また寒さが戻ってきましたね。

昨年末から感染性胃腸炎が流行しています。特に2016年12月上旬のノロウイルス感染者数は、直近5年間でもっとも流行した2012年に迫る勢いでした。外来では「家族がノロウイルスになってしまった。他の家族の予防はどうしたらいい?」「自分は生ものを食べていないけど、ノロウイルスにかかる可能性はある?」といった質問が多く聞かれました。

そこで今回はノロウイルスの感染経路、感染予防についてお話します。

ノロウイルス感染症は秋口から春先に流行し、冬型の胃腸炎、食中毒の原因として知られています。感染から発症までの時間は24～48時間で、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛で、発熱は軽度です。通常、これらの症状は数日間続きます。感染経路は、主に経口感染で、ウイルスに感染した人の糞便・吐物、これらに直接または間接的に汚染された物品類(吐物のついた寝具や食器類など)、そして食中毒としての食品類(汚染されたカキなど)が感染源の代表的なものとしてあげられます。

感染予防策として重要な方法は手洗いです。手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。ノロウイルスを完全に失活化する方法としては、次亜塩素酸ナトリウムや加熱による処理があります。調理器具等は洗剤などを使用し十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭くことでウイルスを失活化できます。家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)、国立感染症研究所



家庭医 渡部なつき

消防訓練を実施しました!

平成28年12月13日(火)15:30に透析センターの機械室を出火想定とした消防訓練を実施いたしました。

病院は年2回の消防訓練を実施するということが消防法の中で定められています。今回は透析中の患者さんをいかに素早く救出できるかに着目し、模擬患者さんの避難誘導、119番通報など一連の活動を、冷静かつ迅速に行えるか職員で協力して行いました。

いざ火災が発生した場合に対処法がわからず慌ててしまい、大きな火災事故につながる恐れがあるため、万が一に備えて対策を考えています。突発的な火災発生における人命の安全第一を図るため、緊急連絡網などを整備しています。まずは火を出さないことを第一に考え、防災意識の向上に努めております。



穎田病院 仕事始め式

平成28年1月4日（月）に仕事始め式を行いました。
 院長より活動説明方針があり、私たち医療従事者が患者さんへ最高の医療を提供するには、何をすべきなのか、また何が課題となっているのかを職員全員で再確認いたしました。これからもより良い医療の提供を目指し、患者さんや地域住民のご意見を真摯に受け止め、地域医療に根ざして参ります。



年男・年女紹介コーナー



医師

吉田 伸



看護師

向笠 真愛美



看護師

遠部 ゆかり



看護師

吉田 育美



看護助手

井上 幸博



看護助手

谷津 恵莉香



薬剤師

濱田 恭子



理学療法士

井上 智恵



理学療法士

横谷 直人



理学療法士

辻岡 祐樹



理学療法士

大丸 修司



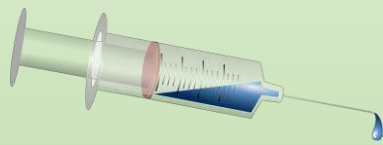
言語聴覚士

谷口 香菜

シリンジポンプについての勉強会を開催

12月6日に在宅医療センターにて、臨床工学技師の矢野主任を講師とし「シリンジポンプ」の勉強会を行いました。

シリンジポンプとは、注射器（シリンジ）に充填された薬剤・溶液を持続的に送液する装置のことです。勉強会には、院内の職員だけではなく、日頃から連携を行っている訪問看護ステーションの看護師さんたちにも参加して頂きました。講義の内容は、基本的な操作方法から応用まで幅広く講義が行われ、参加された訪問看護ステーションの方々も真剣な表情で講義を受けていました。中には操作手順を何度も確認できるようにと動画を撮られている参加者の方もいらっしゃいました。今後も様々な勉強会を開催し、患者さんの安全のため、さらなる知識を深めていきたいと思っております。



颯田病院にクリスマス訪問が やって来ました！！



12月14日に麻生看護大学校の生徒さんが颯田病院を訪れてくれました。

各病棟を生徒さんたちが訪問し、ハンドベルによるクリスマスソングを披露しました。サンタクロースやトナカイの姿で、キャンドルを持った生徒さんたちが各病室を合唱しながら巡回し、夕食のために集まっている患者さんに「赤鼻のトナカイ」を演奏してくれたり、簡単に出来る踊りを取り入れて一緒に踊ってくれました。

患者さんも参加できるような工夫がされており、患者さんの中には終始笑顔の方や涙を流す方と様々でしたが、入院生活中にとっても素敵なサプライズプレゼントをしていただき、大変嬉しく思いました。

麻生看護大学校の皆さん！ 元気と感動を与えてくれてありがとうございました。



Merry Christmas!



【診療担当表】※平成29年1月10日現在

		月	火	水	木	金	土
総合診療科(午前)	初診	吉田 松本 武末 堀之内 和田	一ノ瀬 渡部 松本 和田	吉田 渡部 堀之内 和田	相良 松本 渡部 和田	金 小田 堀之内	当番制 (午前)
	再診(予約)	新道	吉田 長末 佐藤	茂木 相良 一ノ瀬(西園)	檜田 金 吉田(赤岩)	井村 一ノ瀬 大杉(月1)	
総合診療科(午後)	初診	檜田	吉永/堀之内	新道	相良/堀之内	佐藤	
	再診(予約)	本田	深町(15:30まで)	-	本田	-	
小児科	午前	家庭医	岩元(午前)	家庭医	家庭医	家庭医	
	午後	一ノ瀬	吉永	新道	相良	佐藤	
ワクチン(午後)		渡部 (一ノ瀬)	-	松本 (吉田)	-	-	
外科		家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	
予約外来	整形外科 (14:30~16:30)	-	非常勤医 ※紹介制	-	-	非常勤医 ※紹介制	
	上部内視鏡	茂木	-	-	-	-	
	甲状腺 (第2水曜:午前)	-	-	萬代	-	-	
眼科 (12:00~15:00)		-	-	-	-	山中	
耳鼻咽喉科 (午前)		-	非常勤医	-	-	非常勤医	
禁煙外来		渡部(午前)	-	松本(午後)	-	-	
腎臓内科 (午前)			中下	中下	中下	中下	
婦人科 (午後)		-	-	-	松岡 新道		

診療受付時間

- ・午前：8:30~11:30(月~土)
- ・午後：14:00~16:30(月~金)

休診

- ・土曜(午後)、日曜、祝日、年末年始

お問い合わせ

医療法人博愛会 颯田病院

〒820-1114福岡県飯塚市口原1061番地1

TEL 09496-2-2131(代表)

さくらカフェを開催しました！

さくらカフェ（認知症カフェ）を年6回（2ヶ月に1回）開催しています。本年度第4回目となる今回は、当院職員による『訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ 在宅3職種のお話』というテーマで開催しました。

当院は訪問診療・訪問看護・訪問リハビリを行っており、実際に行っている内容を盛り込みながら、参加者の方々と和やかな雰囲気を楽しむことができました。

講話後の茶話会では、「訪問診療・訪問看護・訪問リハビリの名前は聞いたことあるけど内容は分からなかったのでお話を聴けてよかった。」とのお言葉を参加者から頂きました。第5回目は、平成29年1月28（土）13:30～15:30（受付13:00～）、颯田病院1階総合受付横待合室で開催予定です。テーマは、当院職員による『介護・看護視点から』のお話です。各専門スタッフがいますので、さまざまなお相談もお受けできます！

参加費は100円ですので、時間内でしたらいつでもご参加可能ですのでお気軽にお立ち寄りください♪



リハビリテーション部 新入職員紹介

淡田 綾

- ・理学療法士
- ・一般/包括病棟勤務
- ・趣味：お菓子作り



平成28年10月より勤務しています理学療法士の淡田です。

当院勤務前は通所リハビリテーションセンターで働いていました。

颯田病院にはリハビリスタッフが約50名勤務しており、患者さんに合わせ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士それぞれが特化した個別訓練を行っています。また、若くて活気のあるスタッフが、訓練室内は笑顔であふれています。

私も負けずに頑張ります。よろしくお願いいたします。

上原 健人

- ・作業療法士
- ・一般/包括病棟勤務
- ・趣味：バスケットボール



こんにちは、リハビリテーション部作業療法士の上原健人です。

颯田病院で働く中で感じることは、患者さんの身体や心の変化を感じながら自分自身も成長させてもらっていると実感できることです。

現在目指していることは、病院の中で頼られるような知識・技術・人間性を養い、その養った部分を患者さんのために活かしたいです。

まだまだ経験不足で半人前ですがこれからも努力を続けていきたいです。よろしくお願いいたします。